科目名	外国語							年度	2026
英語科目名	Foreign language							学期	後期
学科・学年	ＡＩシステム科 ２年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	へレナ		教員の実務経験		有	実務経験の職種		英会話講師	

【科目の目的】

英会話やIT分野の技術英語などを学ぶ。

【科目の概要】

ライティングに必要な英文をディクテーションする。授業の最後に発表するための準備としてナレーターと同じ速度とリズムで音読できるようにする。文法解説をした後、容易にライティングに取り組めるよう文法の演習問題をする。日常英語をライティングし発表する。また、情報処理に関した資料を使ったリーディングも行う。

【到達目標】

以下の4点を習得することを目標とする。
１．短い会話の内容や意味を大まかに理解し聞き取ることができる。
２．基本的な英文法が理解でき、ライティングの際に使いこなせるようになる。
３．語彙を増やし発表の際、うまく取り入れることができる。
４．ナチュラルスピードで自分のライティングを発表することができる

【授業の注意点】

積極的に授業に参加してもらうため復習は必ず行うこと。授業中の私語や授業態度には厳しく対応する。授業時間数の４分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A 会話の内容や意味の理解	・複雑なトピックの会話の内容や意味を深く理解できる。 ・複数の話者の意見や関係性を把握し、適切な返答をすることができる。	・幅広いトピックの会話の内容や意味を理解できる。 ・詳細な情報や細かいニュアンスも理解できる。 ・質問や議論に参加して適切に意見を述べることができる。	・一般的なトピックの会話の内容や意味を理解できる。 ・会話の主要なポイントや要約を把握できる。	・限られた範囲の会話の内容や意味を一部理解できる。 ・簡単な質問には答えられるが、詳細な情報を把握するのは難しい。	・会話の内容や意味を理解できていない。 ・質問をされても適切に答えられない。
到達目標 B 基本的な英文法の理解	・幅広い英文法ルールを理解し、自然な文章を作成できる。 ・複雑な文法構造を自在に使いこなし、表現ができる。	・基本的な英文法ルールを熟知し、複雑な文を作成できる。 ・複数の文法ルールを正しく使い分けることが出来る。	・基本的な英文法ルールを理解し、一般的な文を作成できる。	・一部の基本的な英文法ルールを理解している。 ・簡単な文を作成できるが、基本的な文構造や単語の使い方に誤りがある。	・英文法の基本的なルールを理解していない。 ・文法の誤りが多く、文が不明瞭である。
到達目標 C 語彙を増やした発表を行う	・豊富な語彙を使用して、多角的な視点から発表が行える。	・語彙に広がりがあり、多彩な表現が含まれている。 ・発表内容が充実し、適切な詳細や具体例を提供する能力がある。	・語彙が多少増えており、多様な表現が含まれる。 ・複数の点について説明でき、基本的な詳細や具体例を提供することが出来る。	・限られた語彙を使って基本的な発表ができる。 ・簡単な事実や意見を述べるが、詳細や裏付けが不足している。	・語彙が限られており、基本的な表現しか使用していない。 ・発表内容が乏しく、詳細や具体例が不足している。

到達目標 D ナチュラルスピードによる自分のライティングを発表	・ナチュラルなスピードで自信を持って発表できる。 ・ライティングの内容が深く、洞察的であり、複数の視点からの展望が含まれている。	・発表がナチュラルなスピードで、聞き手が追いつける範囲である。 ・ライティングの内容は詳細であり、説明が充実されている。	・発表のスピードが適切に近づき、途切れが少なくなる。 ・ライティングの内容は論理的に構成され、主要なポイントが十分に説明される。	・ライティングの内容は一貫性があり、簡単な内容を伝えられる。	・発表が遅く、スピーチが断続的で理解しづらい。 ・ライティングの内容が不明瞭である。
到達目標 E コミュニケーション力の向上	・複雑なトピックにも深く関与し、多くの詳細な情報を伝えることができる。 ・質問に対する回答が洞察的であり、聞き手との有意義な対話を築くことができる。	・多様なトピックについて自信を持って話すことができる。 ・質問に対する回答が論理的で、聞き手の興味を引くことができる。	・中程度のトピックについて明確に話すことができる。 ・質問に対する回答が詳細で、会話が途切れにくくなる。	・単純なトピックについて簡潔に話せるが、詳細な説明は難しい。	・話すことが難しく、自分の意思をうまく伝えられない。 ・聞き手とのコミュニケーションが乏しく、理解されないことが多い。

【教科書】

A PLUS ENGLISH

【参考資料】

無し

【成績の評価方法･評価基準】

以下の事項を総合的に評価する。
･課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	外国語	年度	2025
英語表記	Foreign language	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	進行形のリスニング	進行形を使った文章のリスニングができる　進行形の文法を理解できる	1	進行形のリスニング	リアルな音声を通じて進行形を使用した文章をリスニングし、内容を正しく理解する能力を身につける。	2	
			2	進行形の文法理解	進行形の文法の基本的なルールを理解し、日常会話で進行形を正しく使い分ける能力を習得する。		
			3	進行形の応用	学習した進行形の文法を実際の会話や表現に活用し、自分の意見や考えを進行形を使って表現できるようになる。	2	
2	進行形のライティング	進行形を使った日常英語ライティングができる　発表することができる	1	進行形を使った日常英語ライティング	進行形を適切に使って日常生活に関する文章を書くスキルを身につけ、自分の考えや感情を英語で表現できるようになる。		
			2	プレゼンテーションスキルの習得	進行形を活用したトピックに関するプレゼンテーションスキルを習得し、自信を持って発表する能力を養う。	2	
			3	フィードバックと改善	フィードバックを通じて自己評価と改善能力を高め、ライティングと発表のスキルを段階的に向上させていく。		
			1	未来形を使った文章のリスニング	未来形を使った文章のリスニングスキルを習得し、日常生活における未来の出来事に関する情報を理解できるようになる。	2	

3	未来形のリスニング	未来形を使った文章のリスニングができる　未来形の文法を理解できる	2	未来形の文法理解と活用	未来形の文法構造とルールを理解し、肯定文・否定文・疑問文を正しく作成できるようになる。	2	
			3	会話と表現力の向上	未来の予定や計画を自然な表現で話すためのコミュニケーションスキルを向上させ、自信を持って意見や予定を伝えることができるようになる。		
4	未来形のライティング	未来形を使った日常英語ライティングができる　発表することができる	1	未来形を使った日常英語ライティング	未来形を使った日常英語ライティングができるようになり、自分の未来の予定や計画を英語で文章化できる。	2	
			2	発表スキルの向上	発表スキルが向上し、自信を持って未来の予定や出来事について英語でプレゼンテーションできるようになる		
			3	コミュニケーション力の強化	コミュニケーション力が強化され、他人との会話やディスカッションで未来の出来事や予定についてスムーズにコミュニケーションできるようになる。		
5	助動詞のリスニング	助動詞を使った文章のリスニングができる　助動詞の文法を理解できる	1	助動詞を使った文章のリスニング	助動詞を使った文章のリスニングができるようになり、実際の会話や音声素材から助動詞を聴き取る能力を習得する	2	
			2	助動詞の文法理解	助動詞の文法を理解し、肯定文・否定文・疑問文などで適切に助動詞を選択して文を組み立てられるようになる。		
			3	コミュニケーション能力の向上	助動詞を適切に使用することで、コミュニケーション能力が向上し、自分の意見や要望を的確に伝えることができるようになる。		
6	助動詞のライティング	助動詞を使った日常英語ライティングができる　発表することができる	1	助動詞を使った日常英語ライティング	助動詞を使った日常英語ライティングができるようになり、助動詞を適切に使い文章を構成するスキルを習得する。	2	
			2	発表スキルの向上	助動詞を意識しつつ、英語で自分の意見や情報を発表できるようになり、自信を持って発言することが出来る。		
			3	コミュニケーション能力の向上	助動詞の使用を通じて、コミュニケーションスキルが向上し、英語を使った日常的なコミュニケーションで円滑に意思疎通できるようになる。		
7	助動詞のリスニング	助動詞を使った文章のリスニングができる　助動詞の文法を理解できる	1	助動詞を使った文章のリスニング	助動詞を含む英語文章のリスニングができるようになり、自然な英語の音声を理解する能力を向上させる。	2	
			2	助動詞の文法理解の向上	助動詞の文法的な役割や使用法を理解し、助動詞の使い方に関する基本的な知識を習得する。	2	
			3	リスニングと文法理解の統合	リスニングと文法理解を組み合わせて、助動詞を正しく聴き取り、文脈に適した意味を理解するスキルを磨く。	2	
8	助動詞のライティング	助動詞を使った日常英語ライティングができる　発表することができる	1	助動詞を使った日常英語ライティング	助動詞を適切に使いながら、日常的なテーマに関する英文をライティングできるようになる。	2	
			2	発表スキルの向上	助動詞を含む文章を口頭で自信を持って発表できるスキルを向上させる。		
			3	ライティングと発表の統合	ライティングと発表の両面で助動詞の使い方をマスターし、自分の意見や考えを英語で的確に伝える能力を発展させる。		
			1	受動態の文法理解	受動態の基本的な文法ルールを理解し、受動態を使った文章を作成できるようになる。	2	

9	受動態のリスニング	受動態を使った文章のリスニングができる　受動態の文法を理解できる	2	受動態のリスニング理解	受動態を含むリスニング教材を聴取し、受動態の使用例や文脈を理解できるようになる。	2	
			3	リスニングと文法の統合	受動態の理解を深め、実際に受動態を使った文章を作成し、クラス内で自信を持って発表できるスキルを養う。		
10	受動態のライティング	受動態をを使った日常英語ライティングができる　発表することができる	1	受動態の文法と使い方の解説	受動態の基本的な文法ルールを理解し、日常英語で受動態を使った文章を書くスキルを習得する。	2	
			2	受動態の日常英語ライティング練習	様々なテーマに関連する受動態の文章を自分で書くことができるようになり、自分の意見を的確に伝える能力を高める。		
			3	受動態を使った発表スキルの向上	自分の文章をクラスで自信を持って発表し、受動態を使った表現力を向上させると共に、他の学生とのコミュニケーションスキルを発展させる。		
11	比較のリスニング	比較を使った文章のリスニングができる比較の文法を理解できる	1	比較の文法と種類の解説	比較の基本的な文法ルールを理解し、肯定級、比較級、最上級の適切な使い方をマスターする。	2	
			2	日常英語リスニングの練習	リアルな英語の会話や文章から比較の情報を正しく聴き取り、主要なポイントを理解するスキルを向上させる。		
			3	比較を使った日常英語ライティング	様々なテーマに関連する比較を含む文章を自分で書き、自分の意見や考えを論理的に比較して表現する能力を高める。		
12	比較のライティング	比較を使った日常英語ライティングができる　発表することができる	1	比較の文法と表現の復習と学習	比較の文法を適切に理解し、さまざまな形式の比較を使って日常英語の文章を書くスキルを向上させる。	2	
			2	日常英語ライティングの実践とフィードバック	ライティング課題を通じて、比較を含む文章の構造や表現を改善し、コミュニケーション能力を向上させる。		
			3	比較を活用した発表スキルの練習	比較をテーマとしたプレゼンテーションを行い、自分の意見や考えを明確に伝えるスキルを高める。		
13	不定詞の文法	不定詞を使った文章のリスニングができる　不定詞の文法を理解できる	1	不定詞の文法の解説と学習	不定詞の文法や用法について十分な理解を深め、英語リスニングにおいて不定詞を聞き取る能力を向上させる。	2	
			2	リスニングの練習とフィードバック	リスニング練習を通じて、不定詞がどのような状況で使われるかを理解し、実際の会話や文章での意味を把握する。		
			3	不定詞を活用した日常英語表現の実践	不定詞を使った日常英語の表現を用いてリスニングやコミュニケーションを行い、自分の意見や考えをより正確に表現するスキルを磨く。		
14	不定詞のライティング	不定詞を使った日常英語ライティングができる　発表することができる	1	不定詞の基本的な文法と用法の復習と学習	不定詞の使い方や文法に関する理解を深め、日常的な英語ライティングにおいて適切に不定詞を活用できるようになる。	2	
			2	ライティング演習とフィードバック	ライティング演習を通じて、自分の意見やアイディアを論理的に組み立て、文章にする能力を高める。		
			3	発表練習とピアフィードバック	発表練習を通じて、不定詞を含む英語スピーチやプレゼンテーションを自信を持って行えるようにし、効果的なコミュニケーションスキルを発展させる。	2	
15	パラグラフライティング	パラグラフライティングができる　発表することができる	1	パラグラフ構造と主題文の設定	パラグラフの構造と主題文の設定に関する理解を深め、論理的で整然とした文章を書けるようになる。	2	
			2	サポート文の展開と詳細の追加	サポート文の展開と詳細の追加を通じて、文章の内容を豊かにし、読み手や聞き手に分かりやすく伝えるスキルを磨く。		

			3	パラグラフに基づくスピーチとフィードバック	パラグラフに基づくスピーチやプレゼンテーションを行い、自信を持って発表する能力を向上させる。また、フィードバックを通じて自己表現や説明力を改善する。	2	
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							